

小学校第5・6学年 学級活動(2)学習指導案

令和5年11月 日()第 校時

第5・6学年(名)

指導者 T1：教諭

T2：栄養教諭

1 題材 「めんえき力アップのための食事について考えよう」

(2)エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材について

(1)児童の実態

児童らは給食の時間を非常に楽しみにしており、食生活アンケートを実施したところ、全児童が「給食が好き」と答えている。しかし、その理由に「栄養が考えてあるから」と回答した児童は3名であった。「栄養バランスを考えた食事をとることは大切だと思いますか？」の問いに対しては「大切だと思う」と6名全員が答えており、栄養バランスのとれた食事が大切であることは理解できている。中学校卒業と同時に親元を離れる児童が多いことから、栄養バランスのとれた食事が心身にどのような影響をもたらすのか、自分の健康を考え、より良い食生活を営もうとする食の自己管理能力を高めることが課題だと考える。

(2)題材設定の理由

今年度、徳島県では初めて9月にインフルエンザ注意報が発令された。また 市は県の発令より1週間早く注意報が発令された。今年度は、季節性インフルエンザの流行に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されている。一人一人が健康や食に関する正しい知識が大切であることを理解し、主体的に適切な食習慣を形成しようとする態度を育てたいと考え、本題材を設定した。

(3)指導観

本時ではまず、徳島県や 市のインフルエンザ、新型コロナウイルスの感染拡大状況を確認し、感染予防などの課題意識を高める。そして給食を例にし、免疫力を高める食事はどういったものか考え、それらを基に「免疫力アップ献立ポスター」を作成する。ポスターを作成の中で、どういった食材を摂るべきか、免疫力を高めるための食事には体内でどういった効果があるのかなどを知ることによって、より深い学びになると考える。児童が作成したポスターを学校に掲示したり、家庭へ配付し、知らせたりすることで、実践を継続していこうとする意識をもたせたい。

3 活動の流れと指導上の留意点及び評価規準

(知識・技能 思考・判断・表現 主体的態度)

	活動内容	日時	指導上の留意点	評価規準
事前の活動	保健指導 「風邪の予防」	朝の活動 11/7(火)	・自分の生活を振り返り、課題への意識を高められるようにする。	・自己の生活を進んで振り返ろうとしている。 (主体的態度)
本時	「めんえき力アップのための食事について考えよう」	学級活動(2)エ 11/9(木)	本時の活動に記載	
事後の活動	自分の立てた目標や取組をについて、家庭で振り返る。	家庭学習	・学習した内容や自分の目標をお家の人に伝えさせることで家庭と連携し、実践へとつなげる。	・自分の健康を考え、決めあてを達成しようとしている。 (主体的態度)

4 食育の視点

自分の食生活を振り返り、主体的によりよい食習慣を形成しようとする態度を養う。(心身の健康)

5 本時

(1)ねらい

免疫力を高めるには、日常の食生活による健康づくりが深く関係していることを理解し、自分の食生活で実践できるようにする。

(2)展開

時間	主な学習内容と活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
4分	1 本時の学習内容を確認し、めあてをつかむ。	○県や市の感染症状況を知り、本時の学習の課題につなげる。(T1)	自分にあつた具体的なめあてがポスターに入っている。 【思考・判断・表現】	ワークシート・PRポスター
	めんえき力アップのための食事について考えよう			
15分	2 免疫力アップのための食事について学び、自分にできるめあてを考える。	○免疫力アップのための食事のポイントを説明する。(T2) ○具体的なめあてになるよう助言する。(T1)		
15分	3 免疫力アップ献立ポスターを作る。	○見通しがたつよう、ポスターを例示する。(T1・T2)		
6分	4 各自のポスターを紹介する。	○ポスターを紹介しながら望ましい食生活のためのポイントを押さえていく。(T2) ○めあてが達成できるよう、お家の人に協力してもらうよう助言する。(T1)		
5分	5 実践できるように、アンケートフォームで本時を振り返る。	○全員の振り返りが見えるようにする。(T1)		

6 他教科等との関連

家庭科 「食べて元気に」 (第5学年)

保健 「病気の予防」 (第6学年)